

5校時（ライブ配信でリアルタイム視聴） 代表児童・生徒と高校生によるサミット



6校時 小・中学校全教室でサミット



共通テーマの下、発達の段階に即し、指導方法を工夫して実施



目的：児童・生徒自らがいじめについて主体的に考えることで、児童・生徒に「いじめは絶対に許さない」という心情を育むとともに、児童・生徒のいじめ防止に関する取組の一層の推進を目指す。

工夫：①福生市立小・中学校に通う全児童・生徒がサミットをオンラインでリアルタイム視聴し、その後教室で議論
②福生市内にある都立高校生が代表児童・生徒の議論に、ファシリテーターとして参加

成果：（子供の声）自分はいじめではないと思っていたことを、ほかの人はいじめと考えていた。みんなで話し合い、様々な考えを知ることで、いじめに対する考えが深まった。こういう機会が増えれば良い。

（先生の声）サミットで得た「学校をよくしたい。いじめをなくしたい。」という児童の思いや願いを、学校の教員がどのように支え、実現していくか、自分自身の課題にしたいと思った。